



あけましておめでとうございます

子ども達の元気な声や挨拶と共に、新しい年がスタートしました。まだまだ寒い日が続いていますが、子ども達は頬や鼻を赤らめながらも戸外で沢山遊び、体を動かす楽しさや心地よさを感じながら元気に走り回っています。

今年度も残り3ヶ月。一日一日を大切に、笑顔があふれる温かい保育を進めていきたいと思えます。



遊びからの学び



子ども達は様々な遊びを経験する中で、沢山の事を学び、日々成長していきます。子どもにとっての「学び」とは、知識の習得ばかりでなく、自分で考え挑戦しようとする思いや、好奇心、意欲、想像力など様々な経験を通して身に付いてくるものです。一つの遊びを通して、友達との関わりがあり、言葉を使って会話を弾ませ、想像力を生かして発展させて楽しんだり沢山の学びを経験します。時には一人でじっくりと遊んだり、大人から見れば「何でこんなことをするんだろう」と理解出来ない事でも、子どもなりに考え、行動し、そこから大人が想像もしないような事を学んでいるかもしれないので、じっくりと見守ってあげる事も必要です。

子ども達のちょっとしたつぶやきに耳を傾け、もっと見たい、もっと知りたい、もっと体験したいというような子どもの意欲を十分に満たし、「よく遊び、よく食べ、よく寝る」リズムをしっかりと整え、遊びながら沢山の事を学び、成長し、心を豊かに育ていけるような保育を行っていききたいと思います。

めざせ！世界制覇



前回のクラスだよりでもお知らせしましたが、日本、アメリカ合衆国から始まった国旗カードは、特徴があり、覚えやすい国旗から取り組んできました。太陽のようなマークが入っているアルゼンチン、バツテン模様のジャマイカ、カレーのインドなど覚え、今ではなんと80か国を超えてきました。全員が全部を言えるわけではありませんが、それぞれにお気に入りの国旗があるようで、全員で答えられる国旗もあれば、一人だけが答えられる国旗などもあります。ペルー、フィリピン、ジンバブエ、モンゴル、南アフリカ共和国などは言葉の響きなのか、子ども達のお気に入り覚えるのも早かったです。国旗カードを持って遊んでいる際には、国旗の絵の方を保育士に向けて「これは何だ？」と聞いてくる子ども達。保育士も分からないと、カードの裏に書いてある国名を見て答えるのですが、最近では「これ何だ？」と国旗の絵の方は自分達の方に向け、保育士には親切に最初から国名が書いてある方を向けてくれます。保育士の方が覚えられず、「わからないな」と答えると、「これは〇〇でしょ」と、子ども達に教えてもらうようになってきてしまいました。友達同士でクイズを出し合ったり、生活の中でもバツテン模様を見つけると「ジャマイカみたい」と言ったりして何でも国旗の話題になります。覚えた国旗をホワイトボードに貼っておくと、国旗を見ながら「これと、これは似てるよね」など似ている所を見つけたり、違う所を見つけて会話を弾ませています。保護者の方々からも「テレビなどで国旗が出て来ると得意気に国名を答えています」と話を聞かせて頂く事が増えてきました。特徴がある国旗は覚えやすいのですが、ドイツ、イタリア、フランスのように縦三色旗だったり、横三色旗、横二色旗は色が違うだけなので、なかなか覚えるのが難しいです。しかし、次々に新しい国旗を覚えるのを楽しんでいる子ども達。世界197か国の中から、何か国分の国旗を覚える事が出来るか楽しみです。

